イラストはRP-WF7です。

取扱説明書

デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン システム

品番 RP-WF7

増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン

品番 RP-WF7H

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」(☞23〜25ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※ このサービスはWEB限定のサービスです。

保証書付き

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571−8504　大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2011

VQT3T82-1
M1211KZ1012

主な特長

本機は2.4 GHz無線伝送方式（デジタル）を使用したデジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン システム（RP-WF7）またはその 増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン（RP-WF7H、以降「 増設用 ヘッドホン」）です。
マルチチャンネルのサラウンド音場を、ヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。
増設用 ヘッドホンは、RP-WF7のトランスミッターとの組み合わせでお使いいただけます。トランスミッターに設定されているID（認識番号）を 増設用 ヘッドホンに登録（☞ 16ページ）し、お使いください。

- 外来ノイズなどの影響を受けにくいデジタル無線伝送を利用
- 独自に開発したφ40 mm大口径ドライバーユニットと、ドルビープロロジックⅡxデコーダー搭載により、7.1チャンネルに生成された臨場感あふれ、迫力あるサラウンド音場を実現
- 3Dメガネの装着に対応した新開発イヤーパッドを搭載
- ヘッドホンでトランスミッターを操作できるリモコン機能を搭載
- ヘッドホンの音量を調節できる音量ボタンを搭載
- ヘッドホンの電源は付属・別売の単４形ニッケル水素充電式電池、または別売の単4形アルカリ乾電池のどちらでも使用可能
- 受信範囲外での耳障りなノイズをカットするミューティング機能を搭載
- 最大で約30 mの到達距離（ご使用の環境により異なります。）
- 光デジタル入力端子を2系統、光デジタル出力端子（スルー）を1系統装備
- 音声入力のない状態が約3分続くと自動的にトランスミッターおよびヘッドホンの電源が切れるオートパワーオフ機能を搭載
- ドルビーデジタル、ドルビーデジタルサラウンドEX、ドルビープロロジックⅡx、DTS、DTS-ES、MPEG-2 AACに対応したデコード機能を搭載しているので、BD/DVD、BS/CS/地上デジタル放送などの方式に対応

■付属品の確認

まず付属品を確かめてください。

かっこ（　　）内は、2011年12月現在の品番です。

RP-WF7

☐ ACアダプター（RFX9300）･･････････････ 1
☐ 単４形ニッケル水素充電式電池
（HHR-4AG）･･････････････････････････････ 2
☐ 充電ケーブル（RFX9379）･･････････････ 1
☐ 光デジタル接続ケーブル（光角型⇔光角型）････ 1
買い替えは別売品をお買い求めください。（☞ 29ページ）

RP-WF7H

☐ ACアダプター（RFX9300）･･････････････ 1
☐ 単４形ニッケル水素充電式電池
（HHR-4AG）･･････････････････････････････ 2

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 光デジタル接続ケーブルの先端キャップなど、小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品（☞ 上記）と別売品（☞ 29ページ）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense　http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞23〜25ページ）

まず
確認と準備

主な特長…………………………………… 2
各部のなまえとはたらき………………… 4
トランスミッター………………………………4
ヘッドホン………………………………………6
ヘッドホンの電源準備…………………… 7
充電式電池を使う………………………………7
・充電式電池を入れる ………………………7
・充電する ……………………………………7
アルカリ乾電池（別売）を使う……………9
接続する RP-WF7 ………………………10
デジタル機器を接続する…………………… 10
アナログ機器を接続する…………………… 11

使う

接続した機器の音声を聴く………………12
サラウンド効果を選んで聴く……………14
音質を選んで聴く…………………………14
その他の機能………………………………15
増設用 ヘッドホンを登録する RP-WF7H …16
使用上のお願い……………………………17
ワイヤレス機器について…………………… 17
ご使用について……………………………… 18

ご参考

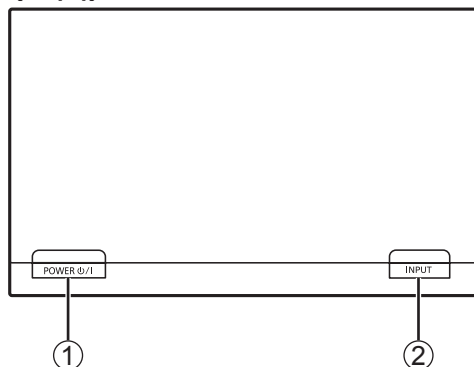
お手入れ……………………………………18
故障かな!?…………………………………19
仕様…………………………………………22
保証とアフターサービス
（よくお読みください）…………………26
別売品のご紹介……………………………29
さくいん……………………………………29

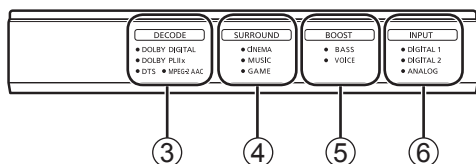
ご注意 安全上の
準備
使う
ご参考

各部のなまえとはたらき

トランスミッター RP-WF7

（上面）

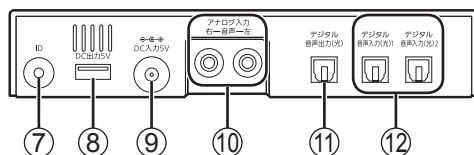
（前面）

① **POWER ⏻/I（電源）ボタン**
（☞12、16ページ）
トランスミッターの電源を入／切します。

② **INPUTボタン**
（☞12ページ）
入力（**DIGITAL 1**、**DIGITAL 2**、**ANALOG**）を切り換えます。

③ **DECODE ランプ**
（☞13、15ページ）
入力された音声信号のデコード状態（**DOLBY DIGITAL**、**DOLBY PLⅡx**、**DTS**、**MPEG-2 AAC**）に合わせて点灯します。

④ **SURROUND ランプ**
（☞14ページ）
サラウンド効果（**CINEMA**、**MUSIC**、**GAME**）に合わせて点灯します。

⑤ **BOOST ランプ**
（☞14ページ）
音質（**BASS**、**VOICE**）に合わせて点灯します。

⑥ **INPUTランプ**
（☞12ページ）
入力（**DIGITAL 1**、**DIGITAL 2**、**ANALOG**）に合わせて点灯します。

（後面）

⑦ IDボタン
（☞ 16ページ）

増設用 ヘッドホンを登録するときに使用します。

⑧ DC出力5 V端子
（☞ 7ページ）

ヘッドホンをRP-WF7に付属の充電ケーブルで接続し、充電式電池を充電します。

⑨ DC入力5 V端子
（☞ 7ページ）

付属のACアダプターを接続します。

⑩ アナログ入力端子
（☞ 11ページ）

ビデオデッキやテレビなど、AV機器の音声出力端子に接続します。

⑪ デジタル音声出力（光）端子
（☞ 10ページ）

INPUTボタンで選択（☞ 12ページ）した入力と同じデジタル信号が出力されます。AVアンプなどに同じ信号を分岐させるときに使用します。

- 音声入力でANALOGを選択しているときは、デジタル音声入力（光）1の入力と同じデジタル信号が出力されます。

INPUTランプ	デジタル音声出力（光）
DIGITAL 1	デジタル音声入力（光）1と同じ信号
DIGITAL 2	デジタル音声入力（光）2と同じ信号
ANALOG	デジタル音声入力（光）1と同じ信号

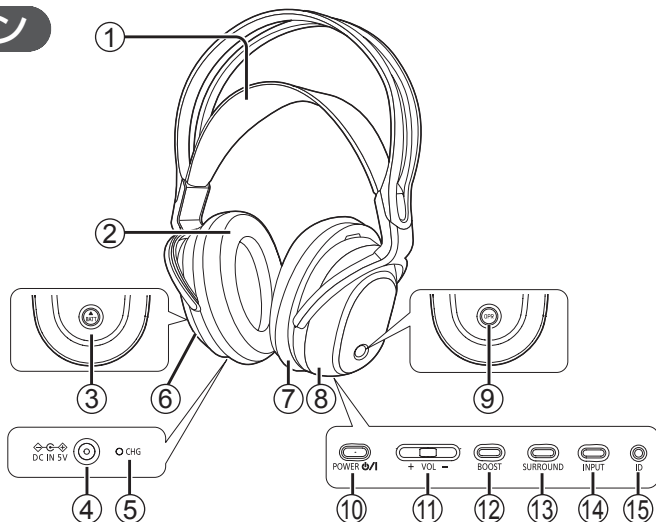
⑫ デジタル音声入力（光）1、2端子
（☞ 10ページ）

テレビやBD/DVD再生機など、デジタル機器の光デジタル出力端子に接続します。

各部のなまえとはたらき（つづき）

ヘッドホン

RP-WF7

RP-WF7H

① **フリーアジャストバンド**

② **左イヤーパッド**

③ **BATT（電池）ふた**
（☞7ページ）

④ **DC IN 5 V端子**
（☞7、8ページ）

充電ケーブルまたはACアダプターを接続し、充電式電池の充電ができます。

⑤ **CHG（充電）ランプ**
（☞7、8ページ）
充電中に点灯します。

⑥ **左ハウジング**

⑦ **右イヤーパッド**

⑧ **右ハウジング**

⑨ **O P R（動作）ランプ**
（☞12、16ページ）

ヘッドホンの電源を入れると、点灯します。

⑩ **POWER ⏻/I（電源）ボタン**
（☞12、16ページ）
ヘッドホンの電源を入／切します。
- トランスミッターの電源が切れている場合、ヘッドホンの電源を入れると、トランスミッターの電源も自動的に入ります。

⑪ **VOL（音量）ボタン（＋、－）**
（☞13ページ）
音量を調節します。

⑫ **BOOST ボタン**
（☞14ページ）
音質（**BASS、VOICE、OFF**）を切り換えます。

⑬ **SURROUNDボタン**
（☞14ページ）
サラウンド効果（**CINEMA、MUSIC、GAME、OFF**）を切り換えます。

⑭ **INPUTボタン**
（☞12ページ）
入力（**DIGITAL 1、DIGITAL 2、ANALOG**）を切り換えます。

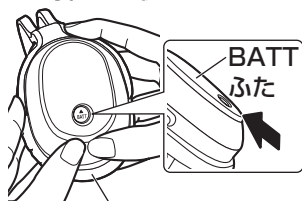
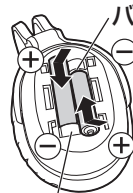
⑮ **ID ボタン**
（☞16ページ）
増設用 ヘッドホンを登録するときに使用します。

ヘッドホンの電源準備

充電式電池を使う

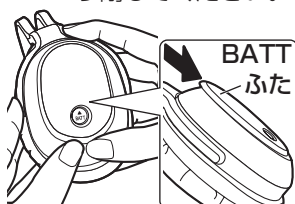
お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

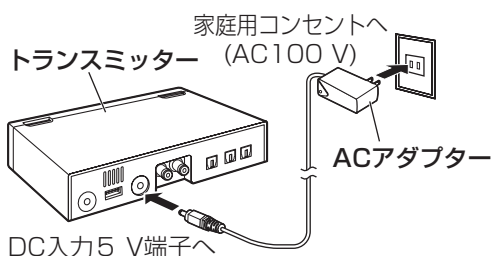
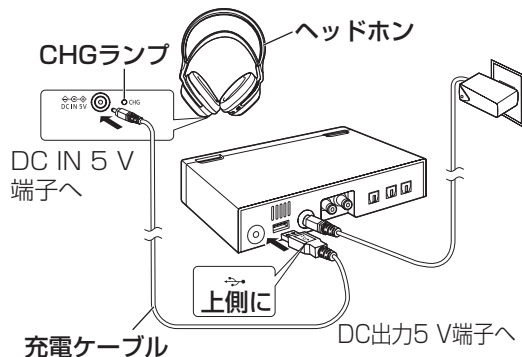
充電式電池を入れる

1 **左ハウジングのBATTふたの端を矢印方向に押して取りはずす**

2 **単4形ニッケル水素充電式電池2本を入れる**
- ⊕と⊖を正しく入れてください。
- ⊖側のバネを電池で押しながら入れてください。バネは直接さわったり、変形させたりしないでください。

バネ

- 取り出すときは⊖側に押しながら取り出してください。

バネ

3 **BATTふたを浮かないようにはめ込み、端を矢印方向に押して取り付ける**
- ロックするまでしっかり閉じてください。

充電する

1 **ACアダプター（付属）をトランスミッターのDC入力5 V端子に接続する**
- 電源を入れる必要はありません。

2 **ヘッドホンのDC IN 5 V端子とトランスミッターのDC出力5 V端子を充電ケーブル（付属）で接続する**
- ヘッドホンのCHGランプが点灯し、充電が始まります。
（充電が完了すると、消灯します。）

お願い
- **トランスミッターのDC出力5V端子は、本機専用です。他の機器を接続しないでください。**

ヘッドホンの電源準備（つづき）

トランスミッターに接続しなくても、ACアダプターを直接ヘッドホンに接続して充電することも可能です。

ACアダプター（付属）を
ヘッドホンのDC IN 5 V端子
に接続する

- 電源を入れる必要はありません。
- ヘッドホンのCHGランプが点灯し、充電が始まります。
（充電が完了すると、消灯します。）

■ 充電式電池について

充電式電池を使う場合は、必ず付属または別売（☞29ページ）の単4形ニッケル水素充電式電池をご使用ください。
一般の単4形充電式電池は、本機で充電することはできません。

■ 充電時間の目安と持続時間

充電時間	持続時間
約3時間※1	約15時間※2

※1　空の状態から充電が完了するのにかかる時間
※2　電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

■ 充電式電池の寿命について

付属のニッケル水素充電式電池は約300回充電できます。
充電しても持続時間が極端に短くなった場合は、電池寿命の可能性があります。
必ず別売の単４形ニッケル水素充電式電池(HHR-4AG/2B)と取り換えてください。
(☞29ページ)

お願い

- **ACアダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。**

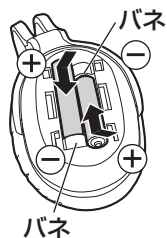
お知らせ

- 使用中はACアダプターが多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 充電中は、充電式電池およびその周辺が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 充電は5 ℃～35 ℃の環境で行ってください。それ以外の環境で行うと充電時間が長くなったり、充電できない場合があります。
- 充電が完了していなくても使用できます。
- 充電できない場合は、CHGランプが点滅します。(☞21ページ)
- 充電式電池が消耗すると、ヘッドホンからビープ音（ピッピッ）が鳴ります。

アルカリ乾電池（別売）を使う

別売の単4形アルカリ乾電池でもお使いになれます。

「充電式電池を入れる」（☞7ページ）と同じ方法で単４形アルカリ乾電池2本をヘッドホンに入れる

・⊕と⊖を正しく入れてください。
・⊖側のバネを電池で押しながら入れてください。
　バネは直接さわったり、変形させたりしないでください。
・取り出すときは⊖側に押しながら取り出してください。

■ 持続時間

乾電池の種類（おすすめ）	持続時間
パナソニックアルカリ乾電池	約20時間※

※　電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

お願い

• **アルカリ乾電池と付属または別売（☞29ページ）の単4形ニッケル水素充電式電池を混ぜて使用しないでください。**

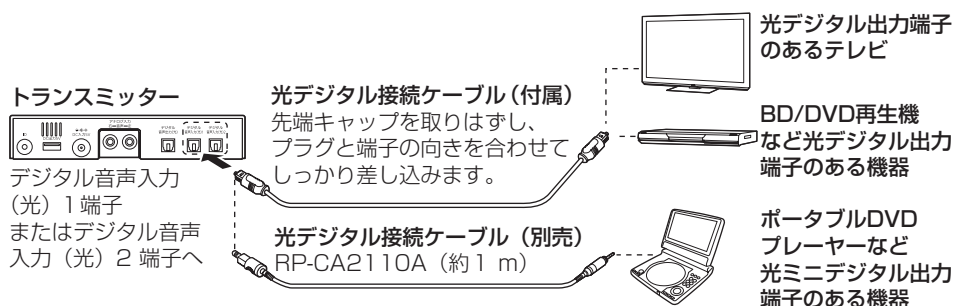
お知らせ

・アルカリ乾電池の充電はできません。
・マンガン乾電池は、持続時間が極端に短くなるためおすすめできません。
・乾電池が消耗すると、ヘッドホンからビープ音（ピッピッ）が鳴ります。

接続する RP-WF7

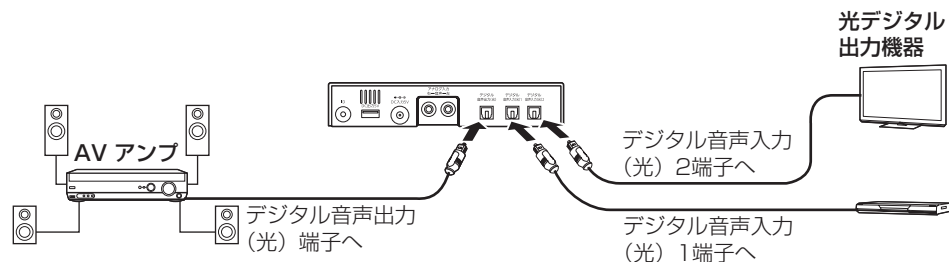
- デジタル機器またはアナログ機器を接続するときは、接続前に接続機器の電源を切っておいてください。
- **本機のACアダプターは、デジタル機器またはアナログ機器の接続を終えてから、トランスミッターに接続してください。**
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

デジタル機器を接続する

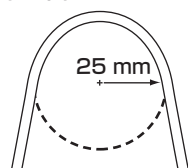
付属の光デジタル接続ケーブルを使って、テレビやBD/DVD再生機など※の光デジタル出力端子とトランスミッターのデジタル音声入力（光）1 または 2端子を接続してください。
※ パソコンの光デジタル出力端子との接続は動作保証できません。

光デジタル接続ケーブル（光ミニプラグ）（別売）
ポータブルDVDプレーヤーなどの光ミニデジタル出力端子と接続するときは、別売の光デジタル接続ケーブルRP-CA2110A（光角型プラグ⇔光ミニプラグ）などをお使いください。
(☞ 29ページ)

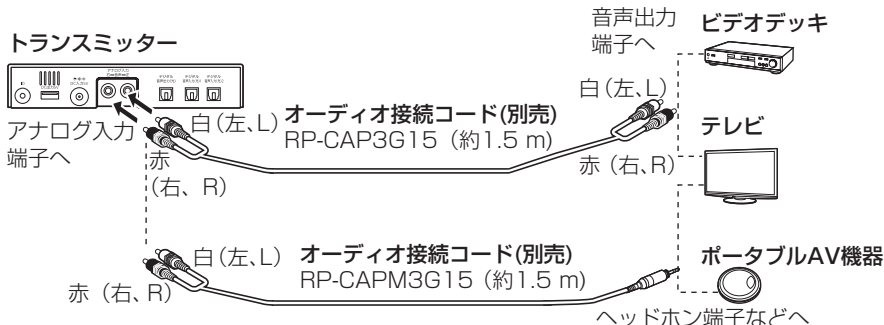
■ AVアンプなどに接続する

デジタル音声入力（光）1 および 2端子に光デジタル出力機器を接続し、デジタル音声出力（光）端子にAVアンプなどを接続しておくと、光デジタル接続ケーブルをつなぎ替えすることなくデジタル音声の切り換えができます。

- トランスミッターまたはヘッドホンのINPUTボタンで選択（☞ 12ページ）したデジタル音声が出力されます。ANALOGを選択した場合およびトランスミッターの電源が切れている場合はデジタル音声入力（光） 1が出力されます。
- トランスミッターにAC アダプターが接続されていないと、デジタル音声は出力されません。

■ 光デジタル接続ケーブルについてのお願い

- 光デジタル接続ケーブルに落下物などによる衝撃を与えないでください。
- 光デジタル接続ケーブルの抜き差しは、プラグを持って、丁寧に行ってください。
- 光デジタル接続ケーブルの先端が汚れると性能が低下しますので、汚さないようにしてください。
- 保管の際は、プラグ先端にキャップを付けて、光デジタル接続ケーブルを折り曲げすぎないようにしてください。

光デジタル接続ケーブルの最小曲げ半径は25 mmです。

アナログ機器を接続する

別売のオーディオ接続コードを使って、ビデオデッキやテレビなどの音声出力端子とトランスミッターのアナログ入力端子を接続してください。

オーディオ接続コード（別売）

- テレビやビデオデッキなどの音声出力端子を接続するときは、別売のオーディオ接続コードRP-CAP3G15（ピンプラグ×２⇔ピンプラグ×2）などをお使いください。(☞29ページ)
- テレビやポータブルAV機器のヘッドホン端子を接続するときは、別売のオーディオ接続コードRP-CAPM3G15（ピンプラグ×２⇔φ3.5 mmステレオミニプラグ）などをお使いください。(☞29ページ)

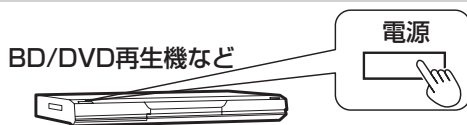
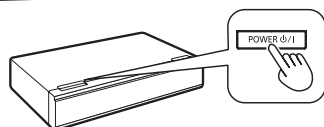
お願い

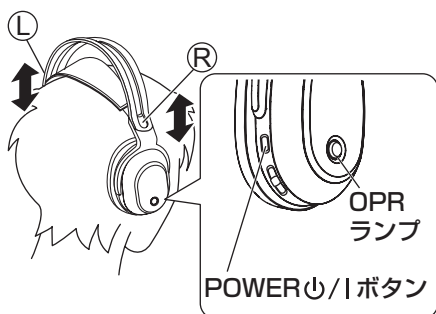
テレビやポータブルAV機器のヘッドホン端子などの出力が低く設定されていると、ノイズが気になることがあります。その場合は、接続した機器側で、音量をひずまない範囲で大きくしてお使いください。

接続した機器の音声を聴く

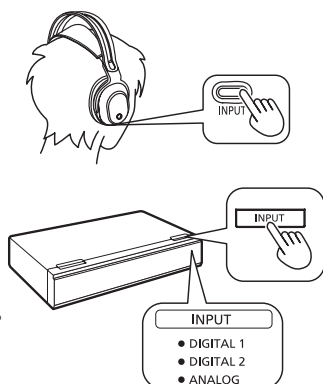
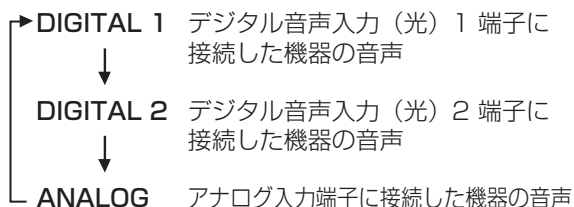
操作に入る前に、必ず「接続する」（☞ 10、11ページ）をご覧のうえ、正しい接続を行ってください。
増設用 ヘッドホン（RP-WF7H）で音声を聴く場合は、まず登録（☞ 16ページ）を行ってください。

準備
- トランスミッターにACアダプターを接続しておく（☞ 7ページ）

1 トランスミッターに接続した機器の電源を入れる

2 トランスミッターのPOWER⏻/Iボタンを押す

3 ヘッドホンのPOWER⏻/Iボタンを OPRランプが点灯するまで押し、頭の上からかける

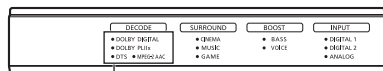
- 右イヤーパッドⓇを右耳に、左イヤーパッドⓁを左耳に合わせ、頭の上から両方の耳にかけてください。
- イヤーパッドを上下に動かして最適な位置に合わせてください。

4 ヘッドホンまたはトランスミッターのINPUTボタンを押し、聴く音声を選ぶ

- 押すたびに、トランスミッターのINPUTランプが以下のように切り換わります。

→DIGITAL 1　デジタル音声入力（光）1 端子に接続した機器の音声
↓
DIGITAL 2　デジタル音声入力（光）2 端子に接続した機器の音声
↓
ANALOG　アナログ入力端子に接続した機器の音声

- 音声入力は、電源を切る直前の状態を保持しています。
- ACアダプターを接続し直すと、DIGITAL 1が選択されます。
- デジタル音声入力がMPEG-2 AACの二重音声の場合は、主音声が出力されます。副音声、または主音声と副音声を両方聴く場合はアナログ接続（☞ 11ページ）し、接続した機器側で聴きたい音声を選んでください。

選んだ入力に合わせて点灯します

5 12ページの手順4で選んだ音声の機器を再生する

- 接続した機器から入力される音声信号に応じて、DECODEランプが数秒後に点灯します。（☞ 15ページ）

6 ヘッドホンのVOLボタンを押し、音量を調節する

- 使用後は、ヘッドホンのPOWER⏻/Iボタンを0PRランプが消灯するまで押して、電源を切ってください。

お願い

- **映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎると、急激な爆発シーンなどで耳を痛めることがあります。音量を上げすぎないでください。**
- **ヘッドホンは、電波が届く範囲（☞ 17ページ）でお使いください。**

お知らせ

- トランスミッターの電源が切れている場合、ヘッドホンの電源を入れると、トランスミッターの電源も自動的に入ります。
- デジタル音声入力（光）1 または2 端子に接続した機器を、早送りや早戻しなど通常再生以外の状態にした場合、DECODEランプが正確に点灯しないことがあります。
- トランスミッターから離れてヘッドホンの電源を入れた場合、トランスミッターとの距離によっては、ヘッドホンの電源が入ってから音が出るまでの時間が長くなることがあります。
- トランスミッターは32 kHz ／44.1 kHz ／48 kHzのサンプリング周波数に対応しています。32 kHz ／44.1 kHz ／48 kHz以外のサンプリング周波数の信号を入力した場合、異常音が発生することがあります。

サラウンド効果を選んで聴く

ヘッドホンのSURROUNDボタンを押し、サラウンド効果を選ぶ

- 押すたびに、トランスミッターのSURROUNDランプが以下のように切り換わります。

CINEMA	映画の中にいるような臨場感あふれる感覚を楽しめます。映画などの再生に適しています。
MUSIC	音響環境のよいリスニングルームの音場を楽しめます。音楽の再生に適しています。
GAME	マルチチャンネルサラウンドのゲームなどで臨場感あふれるプレイを楽しめます。ゲームの再生に適しています。
OFF	通常のヘッドホン再生です。

選んだサラウンド効果に合わせて点灯します。

- サラウンド効果は、電源を切る直前の状態を保持しています。
- OFFを選ぶと、DOLBY PL Ⅱ xランプも消灯します。
- ACアダプターを接続し直すと、CINEMAが選択されます。

お知らせ

- デジタル入力信号がモノラル音声の場合は、SURROUNDボタンを押してもサラウンド効果は選べません。
- MPEG-2 AACの入力が主音声と副音声による2ヵ国語の場合は、主音声が出力されます。（サラウンド効果は得られません。）
- 再生する入力信号（音源）によっては、サラウンド効果を切り換えると、音量が変わる場合があります。
- 音楽CDのように映像を伴わない音源の場合、音の定位が分かりにくくなる場合があります。
- 本機は人間の平均的なHRTF（Head Related Transfer Function：頭部伝達関数）を想定していますが、HRTFには個人差があるためサラウンド効果の感じかたは人により異なる場合があります。

音質を選んで聴く

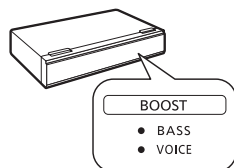
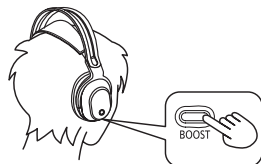
ヘッドホンのBOOSTボタンを押し、音質を選ぶ

- 押すたびに、トランスミッターのBOOSTランプが以下のように切り換わります。

BASS→VOICE→OFF（消灯）

BASS	低音が強調され、厚みのある低音での再生です。
VOICE	テレビや映画のセリフなど人の声を聴き取りやすく再生します。
OFF	通常のヘッドホン再生です。

選んだ音質に合わせて点灯します

- 音質は、電源を切る直前の状態を保持しています。
- ACアダプターを接続し直すと、OFFが選択されます。

その他の機能

■ DECODEランプについて

入力された音声信号の種類を自動判別して、下記のDECODEランプが点灯します。ドルビーデジタルやDTSなどの音声切り換えは、接続した機器側（BD/DVD再生機など）で行ってください。

DOLBY DIGITAL	デジタル入力信号がドルビーデジタル方式の場合に点灯
DOLBY PL Ⅱ x	サラウンド効果（☞ 14ページ）を使用し、モノラル信号を除く以下の入力信号が7.1チャンネルサラウンド音声を生成している場合に点灯 ・アナログ入力信号 ・デジタル入力のPCM2チャンネル信号 ・デジタル入力のドルビーデジタルまたはMPEG-2 AACの2チャンネル信号およびステレオサラウンドチャンネルを含む信号 （サラウンド効果でOFFを選んでいる場合は、ドルビープロロジック Ⅱ x処理されません。）
DTS	デジタル入力信号がDTS方式の場合に点灯
MPEG-2 AAC	デジタル入力信号がMPEG-2 AAC方式の場合に点灯

■ ミューティング（消音）機能について

電波の届く範囲から離れたり、電波の状況が悪くなったりすると、自動的にミューティング機能が働き、ヘッドホンから音声が聴こえなくなります。トランスミッターに近づけば、自動的にミューティング状態は解除されます。

■ オートパワーオフ機能について

約3分間音声信号が入力されないときは、トランスミッターおよびヘッドホンの電源が自動的に切れます。

- アナログ入力で非常に小さい音が約3分間続いたときも、トランスミッターの電源が自動的に切れる場合があります。この場合は接続した機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。

米国特許番号 : 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよびDTSとシンボルマークとの複合ロゴはDTS, Inc の登録商標です。DTS Digital Surround およびDTS ロゴはDTS, Incの商標です。製品はソフトウェアを含みます。
© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、AACロゴ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

増設用 ヘッドホンを登録する RP-WF7H

RP-WF7のトランスミッターには固有のID（認識番号）が設定されています。RP-WF7H（増設用 ヘッドホン）にトランスミッターのIDを登録すると、複数の人が同時にワイヤレスでマルチチャンネルのサラウンド音場を楽しむことができます。

- 電波が届く範囲内（☞ 17ページ）で、増設用 ヘッドホンは最大3台まで使用可能です。
- RP-WF7H以外の 増設用 ヘッドホンは使用できません。
- 複数のヘッドホンを同時に使用する場合、トランスミッターの操作は最初に電源を入れたヘッドホンでできます。

準備

- 増設用 ヘッドホンを充電しておく（☞ 7、8ページ）

または

- 増設用 ヘッドホンに別売の単4形アルカリ乾電池を入れておく（☞ 9ページ）

1 トランスミッターのPOWER⏻/I ボタンを押す

- トランスミッターの電源が入ります。

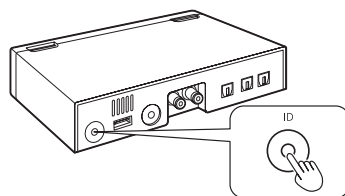
2 増設用 ヘッドホンのPOWER⏻/I ボタンをOPRランプが点灯するまで押す

- ヘッドホンの電源が入り、OPRランプが点滅します。

3 増設用 ヘッドホンのIDボタンをOPRランプの点滅がゆっくりになるまで、押したままにする（約3秒間）

- 登録受け付け状態になり、ヘッドホンからビープ音（ピーピーピー）が鳴ります。

4 増設用 ヘッドホンのOPRランプが点灯に変わるまで、トランスミッターのIDボタンを押したままにする

- ビープ音が鳴っている間（約10秒間）に登録してください。
- IDが登録されると、ヘッドホンからビープ音が止まり、OPRランプが点滅から点灯に変わります。
- 登録できなかった場合は、手順**3**からやり直してください。

お知らせ

- 増設用 ヘッドホンの登録作業は、1台ずつ行ってください。登録作業を同時に2台以上行った場合、登録できません。
- 登録作業は何度でも行うことができます。登録するたびにIDがヘッドホンに上書きされます。
- ヘッドホンは別のRP-WF7のトランスミッターとでも、登録すれば使用できます。再度元のRP-WF7のトランスミッターで使用するときは、登録作業をやり直してください。
- RP-WF7のヘッドホンには、出荷時に同梱のトランスミッターのIDがあらかじめ登録されています。

使用上のお願い

ワイヤレス機器について

本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項をお読みの上お使いください。

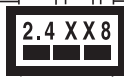
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**パナソニック株式会社 パナソニック お客様ご相談センター** （☞ 27ページ）

■ 周波数表示の見かた（本機の証明ラベルに記載）

変調方式がその他の方式

2.4 GHz帯を使用

電波与干渉距離80 m以下

2.404 GHz ～2.476 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解／改造する
- 本機に貼ってある定格銘板および証明ラベルをはがす

■ 使用制限

日本国内でのみ使用できます。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

約30 m以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 本機との距離が近いと電波干渉により、音がとぎれたりするなどの不具合が生じる可能性があります。
  以下の機器の無線周波数を変更したり、本機よりできるだけ離して使用することをおすすめします。
  ワイヤレスLAN ／電子レンジ／ OA機器／デジタルコードレス電話機／デジタルワイヤレスヘッドホン／その他電気製品など

通常、本機はこれらの家庭用機器との電波干渉を自動的に避けるよう設計されていますが電波の干渉がある場合、音がとぎれることがあります。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ 以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。
例）原子力施設における核反応制御／航空機自動飛行制御／航空交通管制／大量輸送システムにおける運航制御／生命維持のための医療機器／兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用上のお願い（つづき）

ご使用について

本機は2.4 GHz帯の周波数を使用していますが、他機種との組み合わせでは使用できません。
また、2台以上のRP-WF7(ヘッドホンとトランスミッター)の同時使用は動作保証していません。

■ 使用、設置場所について

次のような場所で使用したり、置いたりしないでください。

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所
- ほこりの多い場所
- 振動の多い場所
- 風呂場など、湿気の多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた場所

■ 取り扱いについて

- 落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 水などの液体にぬらさないでください。故障の原因となります。
- 長期間使用しないときは、電池保護のため、ヘッドホンから電池を取り出してください。また、節電のためトランスミッターの電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。（電源を切った状態でも約6.5 VAの電力を消費しています。）

■ 音量について

騒音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

■ イヤーパッドを交換するには

イヤーパッドは消耗品です。

① 古くなったイヤーパッドを外す
② 交換用イヤーパッドの裏側に穴が開いている方を下側にしてハウジングの外周溝にはめ込む

お手入れ

乾いた柔らかい布でふいてください。
ACアダプターをご使用の場合はACアダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。
販売店へお持ちになるときは、必ずヘッドホンとトランスミッターをいっしょにお持ちください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	**■ ヘッドホン** ➡ ヘッドホンの電源を入れ直してください。（☞ 12ページ） ➡ ヘッドホンの音量を上げてください。（☞ 13ページ） ➡ ミューティング機能が働いていませんか。（☞ 15ページ） 電波が届く範囲（☞ 17ページ）に移動してください。 ➡ ヘッドホンの電源を入れてもOPRランプが消灯していませんか。 充電式電池が消耗しているので、充電してください。（☞ 7、8ページ） 充電できないときは充電式電池またはアルカリ乾電池を新しいものと交換してください。（☞ 7、9ページ） それでもOPRランプが消灯したままの場合は、販売店にお持ちください。 ➡ OPRランプが点滅していませんか。 トランスミッターのIDを登録し直してください。（☞ 16ページ） **■ トランスミッター** ➡ トランスミッターにACアダプターが接続されていることを確認してください。（☞ 7ページ） ➡ トランスミッターとAV機器の接続を確認してください。（☞ 10、11ページ） ➡ トランスミッターまたはヘッドホンのINPUTボタンを押し、接続した機器を正しく選んでいるか確認してください。（☞ 12ページ） ➡ トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れて再生し、トランスミッターのINPUTランプのいずれかが点灯していることを確認してください。（☞ 12ページ） ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子を接続したときは、接続した機器の音量を上げてください。 ➡ デジタル入力を選択している場合は、接続機器の出力設定がOFFや切になってないか確認してください。 ➡ DTSに対応していないBD/DVD再生機（ゲーム機を含む）でDTS音声を再生していませんか。 DTSに対応したBD/DVD再生機を使用してください。または接続機器側でDolby DigitalやPCM音声を選択してください。 ➡ BD/DVD再生機（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定がOFFや切の状態で、DTS音声で記録されたBD/DVDを再生していませんか。 お使いのBD/DVD再生機の取扱説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定をONや入に切り換えてください。 ➡ BD/DVD再生機（ゲーム機を含む）とトランスミッターをアナログ接続（☞ 11ページ）している状態で、DTS音声で記録されたBD/DVDを再生していませんか。 BD/DVD再生機からアナログ音声が出力されない場合があります。デジタルで接続してください。

故障かな!?（つづき）

症状	原因と対応のしかた
音が小さい	➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子を接続したときは、接続した機器の音量を上げてください。 ➡ ヘッドホンの音量を上げてください。（☞ 13ページ）
音がひずむ	➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子を接続したときは、接続した機器の音量を下げてください。 ➡ アナログ接続（☞ 11ページ）したときは、接続した機器の取扱説明書をご覧になり、サラウンド機能やエフェクト機能をOFFや切に切り換えてください。
音がとぎれとぎれになる 雑音が多い	➡ 電波の届く範囲で使用する、またはトランスミッターの位置を変えてください。（☞ 17ページ） ➡ トランスミッターとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線機器や電子レンジなどがないか確認してください。（☞ 17ページ） ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子を接続したときは、接続した機器の音量を上げてください。
「ピッピッ」というビープ音が聴こえる	➡ 充電式電池が消耗しているので、充電してください。（☞ 7、8ページ） 充電できないときは充電式電池またはアルカリ乾電池を新しいものと交換してください。（☞ 7、9ページ）
アナログ入力で使用中、音声が聴こえなくなった	➡ 非常に小さい音が約3分間続いたときは、オートパワーオフ機能が働くことがあります。（☞ 15ページ） この場合は、ヘッドホンの音量を下げ、アナログ接続（☞ 11ページ）している機器の音量を上げてください。
サラウンド効果が得られない	➡ ヘッドホンのSURROUNDボタンを押し、CINEMA、MUSICまたはGAMEに切り換えてください。（☞ 14ページ） ➡ 再生中の音源がモノラル信号になっていませんか。モノラル音声の場合、サラウンド効果は得られません。
SURROUNDランプが点灯しない	➡ デジタル入力信号がモノラル音声の場合、サラウンド効果は選べません。
オートパワーオフ機能が働かない	➡ 接続した機器からノイズ信号が入っている可能性があります。 接続した機器の電源を切ってください。
DOLBY DIGITALランプが点灯しない	➡ BD/DVD再生機（ゲーム機を含む）の音声デジタル出力の設定がPCMになっていませんか。 お使いのBD/DVD再生機の取扱説明書をご覧になり、ドルビーデジタル出力設定をBitstreamなどに切り換えてください。 ➡ ドルビーデジタルフォーマットで記録されていない信号を再生していませんか。
DOLBY PL Ⅱ x ランプが点灯しない	➡ サラウンド効果がOFFになっていませんか。 ヘッドホンのSURROUNDボタンを押し、CINEMA、MUSICまたはGAMEに切り換えてください。（☞ 14ページ） ➡ デジタル入力にDTS方式やモノラル音声の信号が入力されていませんか。

症状	原因と対応のしかた
DTSランプが点灯しない	➡ BD/DVD再生機（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定がOFF、切やPCMになっていませんか。 お使いのBD/DVD再生機の取扱説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定をON、入やBitstreamに切り換えてください。 ➡ DTS方式で記録されていない信号を再生していませんか。 ➡ 再生中のチャプターの音声がDTS以外になっていませんか。 ➡ BD/DVD再生機（ゲーム機を含む）がDTSに対応していますか。 DTSに対応したBD/DVD再生機をお使いください。
MPEG-2 AACランプが点灯しない	➡ テレビなどの音声デジタル出力の設定がPCMになっていませんか。 テレビなど接続した機器側の取扱説明書をご覧になり、MPEG-2 AAC信号が出力されるように設定を変更してください。
2ヵ国語の音声が選択できない	➡ アナログ接続（☞ 11ページ）して、接続した機器側で聴きたい音声を選んでください。
充電できない	➡ ヘッドホンのCHGランプは点灯していますか。 ・トランスミッターにACアダプターを接続し直したあと、ヘッドホンのDC IN 5 V端子とトランスミッターのDC出力5 V端子を充電ケーブルで接続し直してください。 ・ヘッドホンのDC IN 5 V端子にACアダプターを接続し直してください。 ➡ ヘッドホンのCHGランプが点滅していませんか。 ・電池寿命の可能性があります。別売の単4形ニッケル水素充電式電池（☞ 29ページ）と交換し、充電する（☞ 7、8ページ）か、新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。(☞ 9ページ) ・乾電池が入っていませんか。 乾電池の充電はできません。 ・付属以外のニッケル水素充電式電池が入っていませんか。 必ず付属または別売（☞ 29ページ）の単4形ニッケル水素充電式電池を入れてください。 ・充電式電池が正しく入っていますか。 一度電池を完全に取り出してから、電池を正常に入れ直してください。(☞ 7ページ)
IDを登録できない	➡ 増設用 ヘッドホンからビープ音（ピーピー）が鳴っている間にトランスミッターのIDを登録してください。(☞ 16ページ) ➡ 増設用 ヘッドホンは、一台ずつ登録してください。 ➡ RP-WF7H以外の 増設用 ヘッドホンは登録できません。

-このマークがある場合は-

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

仕様

■ トランスミッター

デコード機能
ドルビーデジタル
ドルビープロロジックⅡx
DTS
MPEG-2 AAC

サラウンド機能
CINEMA
MUSIC
GAME

ブースト機能
BASS/VOICE

変調方式 その他の方式

搬送波周波数
2.4 GHz帯域
(2.404 GHz ～2.476 GHz)

到達距離 最長約30 m

伝送周波数帯域
10 Hz ～24000 Hz

再生サンプリング周波数
32 kHz ／44.1 kHz ／48 kHz

歪率 1 %以下（1 kHz)

音声入力 光デジタル入力（角型）×2系統
アナログ入力（ピンジャック、右/左）×1系統

音声出力 光デジタル出力（スルー）
（角型）×1系統

出力電源 DC 5 V

電源 DC 5 V(付属のACアダプターを使用)

最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）
185 mm × 35.5 mm × 113.5 mm

質量 約223 g

■ ヘッドホン

変調方式 その他の方式

搬送波周波数
2.4 GHz帯域
(2.404 GHz ～2.476 GHz)

再生周波数帯域
10 Hz ～24000 Hz

電源 DC 2.4 V(付属の充電式電池×2本)
またはDC 3 V（単4形アルカリ乾電池×2本)

充電用電源
DC 5 V

最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）
195 mm × 220 mm × 76 mm

質量 約227 g(付属の充電式電池を含む)
約203 g(付属の充電式電池を含まず)

再生時間 約15時間（付属の充電式電池)
約20時間(単4形アルカリ乾電池)

充電時間 約3時間

■ 総合

使用温度範囲
0 ℃～40 ℃

使用湿度範囲
10 %～80 % RH(結露なきこと)

充電可能温度範囲
5 ℃～35 ℃

■ ACアダプター

定格入力 AC 100 V 50/60 Hz

定格出力 DC 5 V 1.5 A

入力容量 17 VA

動作待機中のACアダプター消費電力
(トランスミッター スタンバイ時)
約6.5 VA

注) この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
・ホームページ http://www.jbrc.net/hp

充電式
ニッケル水素電池使用

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

区分	内容
	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

図記号	内容
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

充電式電池は、本機（ヘッドホンとトランスミッター、または 増設用 ヘッドホン）と付属のACアダプター、充電ケーブル以外を使って充電しない

指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

● 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、ACアダプターを抜き、ヘッドホンから電池を取り出す

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・音声が出ないことがある
・内部に水や異物が入った
・電源プラグが異常に熱い
・本体やACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

● 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

コード・電源プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

・指定以外の電池を使わない
・乾電池は充電しない
・加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
・⊕と⊖を針金などで接続しない
・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
・⊕と⊖を逆に入れない
・新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
・被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

● 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

安全上のご注意（つづき）　必ずお守りください

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

単４形電池や光デジタル接続ケーブルの先端キャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機の金属部や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
- また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

ヘッドホンが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

付属のACアダプターを使う

付属外のACアダプターで使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

保証とアフターサービス　よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　）　－
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは
「故障かな!?」（☞ 19～21ページ）でご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。
お使いのヘッドホンとトランスミッターをいっしょに修理へご依頼ください。

製品名	品番	故障の状況
デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン システム	RP-WF7	できるだけ具体的に
増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン	RP-WF7H	

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 6年
当社は、このデジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン システムまたは 増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

愛情点検 長年ご使用のデジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン システムおよび 増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホンの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス（つづき） よくお読みください

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

別売品のご紹介

2011年12月現在の品番です。

交換用イヤーパッド
- RFX9369（1個）
（左右共用）

単4形ニッケル水素充電式電池
- HHR-4AG/2B
（2本組、ケース付）

光デジタル接続ケーブル
- RP-CA2020（約2 m）
（光角型プラグ⇔光角型プラグ）
- RP-CA2110A（約1 m）
（光角型プラグ⇔光ミニプラグ）

オーディオ接続コード
- RP-CAP3G15（約1.5 m）
（ピンプラグ×2⇔ピンプラグ×2）
- RP-CAPM3G15（約1.5 m）
(ピンプラグ×2⇔φ3.5 mmステレオミニプラグ)

さくいん

英字
BATTふた……6,7
BOOSTボタン、ランプ……4,6,14
CHGランプ……6,7,8
DC IN 5 V端子……6,7,8
DC出力5 V端子……5,7
DC入力5 V端子……5,7
DECODEランプ……4,13,15
DOLBY DIGITAL……4,15
DOLBY PL Ⅱ x……4,15
DTS……4,15
IDボタン……5,6,16
INPUTボタン、ランプ……4,5,6,12
MPEG-2 AAC……4,12,15
OPRランプ……6,12,16
POWER ⏻/Iボタン……4,6,12,16
SURROUNDボタン、ランプ……4,6,14
VOLボタン……6,13

あ／か
アナログ入力端子……5,11
オーディオ接続コード……11,29
オートパワーオフ機能……15
音質……14
乾電池の持続時間……9

さ
サラウンド効果……14
充電式電池の充電時間と持続時間……8

た
デジタル音声出力（光）端子……5,10
デジタル音声入力（光）端子……5,10

は
ハウジング……6,7,18
光デジタル接続ケーブル……10,11,29
左ハウジング……6,7

ま
右ハウジング……6
ミューティング機能……15

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
　(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
　(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
　(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
　(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
　(ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
　(ヘ) 本書のご添付がない場合
　(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　(チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
　(ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
　お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic　　持込修理

デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン システム保証書
増設用 デジタル ワイヤレス サラウンド ヘッドホン保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	RP-WF7/RP-WF7H
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年　　月　　日
※お客様	ご住所 お名前　　　　様 電　話（　　　）　―
※販売店	住所・販売店名 電話（　　　）　―

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。